--------1月9日---------　　2023年

※ 今週のアウトルック(1/9～1/13)

先週は週末の米国雇用統計の発表を受けて、ドル安が進みました。
ドル円が下落、ユーロドル、ポンドドルなどが上昇しました
米国雇用統計は非農業部門雇用者数は増加、失業率は改善、平均時給の伸び率は鈍化という結果でしたが、市場関係者の見方として次回2月のFOMCでの利上げ幅は0.25ポイントという見方が幾分強くなっているようです。
今週はドル安の流れがどの程度続くのかが、まずは注目されます。

先週のドル円は、金曜日の米国雇用統計を前にして135円目前まで上昇しましたが、発表後は一転して132円付近まで下落してそのままNY市場を終了しています。
今週はドル売りの流れを引き継いで、再び130円付近のサポートブレイクに動くかどうかがまずは注目されます。
サポートブレイクの動きが活発化する可能性はありますが、ブレイクできる可能性は現時点の状況的には五分五分と考えています。

ドル円の予想レンジは125円から135円です。

先週のユーロ円は、1/3に137円台前半まで下落したもののその後持ち直し140円付近で週末を迎えました。
今週は、ユーロドルの上昇が期待されますが1.075付近のレジスタンスが意外に強く、ブレイクするには時間がかかるかもしれません。
それに伴い、ユーロ円はレンジ内での動きになる可能性が強いように思います。

ユーロ円の予想レンジは137円から144円です。

ポンド円はなんとか155円付近のサポートラインを死守したようです。
一方、162円付近のレジスタンスも強いようで、ブレイクするには少し時間がかかるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは155円から165円です。

このままドル売りがもう一段進むのか、それともこのまま下落はいったん止まるのか、そのあたりがまずは注目されます。

＊免責事項＊
当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。